

I 七尾市のプロフィール

石川県七尾市は能登半島の中程に位置し、平成 16 年(2004 年)10 月 1 日、(旧)七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町の 1 市 3 町が合併し、新生七尾市として新しい一歩を踏み出しました。

この地域は、天然の良港として栄えてきた七尾港を海の玄関口とし、古代より能登の政治・経済・文化の中心地として発展を続けてきました。

また、渚のいで湯として全国的に有名な * 和倉温泉や、様々なリゾート施設を有する能登島をはじめ、観光資源にも非常に恵まれた、魅力あふれる市です。



* 和倉温泉「加賀屋」は、「プロが選ぶ日本のホテル・旅館 100 選」で<35 年連続1位>

2017 年は、総合3位

2018 年は、再び1位に
和倉温泉「加賀屋」

せいはいくさい
青柏祭

(ユネスコ無形文化遺産登録・国指定重要無形民俗文化財)
若葉萌える5月の連休に行われる大地主神社(山王神社)の春祭りで、能登地区最大の祭礼。高さ12m、重さ20tの日本一大きな山車3台が狭い町なかを曳き廻される。訪れる人々が山車を曳くことができる参加型の祭り。毎年5月3～5日



能越自動車道路(七尾～氷見)開通

平成27年 2 月 28 日氷見～七尾間が全線開通し、新高岡駅まで 60 分と近くなり、能登の玄関口として期待される。



七尾市は「天然の生簀」と呼ばれるほど、多種多様な魚介類が七尾湾で水揚げされる。サヨリ、能登本マグロ、アオリイカ、寒ブリ、能登かき、なまこなど四季を通じて新鮮な魚介が市場 に並ぶ。地魚を使った握りや海鮮ちらし寿司はカウンターで昔堅気の大將の粋を感じながらいただきたい

(平成30年度)

Ⅱ 七尾市シルバー人材センターあらまし

1) 名称・所在地・代表者

公益社団法人 七尾市シルバー人材センター
本 所 七尾市小島町西部1番3
七尾市勤労者総合福祉センター（指定管理者で受託）
鹿北支所 七尾市中島町豊田町マ部1
理事長 久保雅博
HP <http://www.sjc.ne.jp/nanao>

2) 設 立

昭和56年4月1日 任意団体
（昭和58年9月1日法人化、法律46条指定日 昭和58年10月1日）
鹿北支所 平成16年10月1日 七尾市、田鶴浜町・中島町・能登島町の各シルバーと
市制統合と併せ合併。（1本所・3支所体制）
平成19年4月1日（3支所を1支所に統合し、1本所・1支所体制）

3) 会 員 (H30.3.31)

1, 065名（本所 786名 支所 279名）

（男 521名 女 544名）

粗入会率4.61%（石川県全体2.5%）…60歳以上人口に占める会員率

※ 七尾市 60才以上 男 10,018人(5.20%) 女 13,109人(4.15%)計 23,127人

※ 七尾市人口 男 25,262人、女 28,142人、計 53,404人

4) 役 員 24名 (H30.6.1)

理事 22名（理事長、副理事長、専務理事各1名及び理事 19名、）
（会員21名、行政1名：七尾市福祉部長） ※ 参考：女性理事 8名
監事 2名（会員1名、行政1名：七尾市会計管理者）

5) 事務局体制	事務局長（専務理事兼務）	1名（プロパー）
	主幹	1名（プロパー）
	業 務 係	3名
	経理・庶務係	2名（プロパー2名）
	サポート事業係	4名（うち1名は石川県シ連の衛生管理者を兼務）
	鹿北支所	2名
		<u>合計 13名</u>

- 6) 会 議 定期総会 1回（5月）…参加記念品（中島菜漬物）
理事会 毎月1回、地域班長会議 年2回程度
専門部会は必要の都度開催

※.専門部会 ①能力開発…会員の講習、知識の向上（支援・育成事業）、役員視察
②普及啓発…会報作成、ボランティア、ふれあい市、ホームページ、Facebook
③会員拡大…シルバー便りロコミ、入会相談、会員紹介制度、サークル会員
④就業開拓…チラシ配布、往復ハガキ、仕事紹介謝金制度
⑤総 務…上記に属さない事項及び事務局職員に関する事項
⑥あすなろ会…会員の福利厚生
（GG大会、忘年会、年3回旅行、サークル補助、慶弔等）
⑦安全・適正就業委員会…安全・適正就業企画立案
（毎月安全パトロール・優良運転者推薦・先進地視察・運転研修）

- 7) 会 費 2, 200円 内訳 正会員会費 1, 000円
互助会会費 1, 200円（センターとは別会計）

8) 補助金

Aランク（平成30年度）.

連合補助金	11,236千円（本体事業7,236千円+サポート事業4,000千円）
七尾市	11,236千円（国庫補助と同額負担）
合 計	22,472千円

9) 職群班

①剪定班	②草刈班	③除草・清掃班	④不用品
8リーダー	8リーダー	6リーダー	1リーダー
班リーダー手当（毎月千円）、班補助（リーダー毎）年間1万円 （電話連絡代金充当）（会議費・班忘年会充当）			

10) 平成29年度実績

受託事業

受注件数	4,408件
就業延人員	79,976人日
契約金額	356,033,853円
就業率	70.3%
事務費	公共8%・民間8%

派遣事業

受注件数	63件
就業延人員	4,612人日
派遣金額	19,049,261円
派遣手数料	20%+消費税

11) 技能講習（平成29年度）

- ① 石川県シルバー人材センター連合会が主催の講習
育成講習

・ハウスクリーニング	14名	・造園・刈払講習	16名
・チェンソー講習	17名	・介護予防講習	8名
・古材鑑定士講習	19名	・ビジネスパソコン（初級）	20名
・子育て支援講習	9名	・ビジネスパソコン（中級）	17名

- ② 七尾市シルバー人材センターが主催の講習

4月 七尾まだら	10名	5月 障子張替	18名	6月 網戸張替	23名
7月 ダンボールコンポスト	19名	9月 料理（押し寿司）	15名		
11月 陶芸	10名	12月 ミニ門松	38名	切り絵	22名
				2月 四ツ目講習	11名

12) 独自事業 平成29年度

①大型門松、ミニ門松、ミニミニ飾り

特大門松	20対（2.1m）、大門松36対（1.8m）、ミニ門松175対（90cm）、
ミニミニ飾り	50個
販売合計	3,222,100円

②縄・輪飾り、ほうらい（毛筆・切抜き）

縄	大23本、中67本、小85本、特小62本
輪飾り	大93個、小191個、自動車用13個
ほうらい（筆214枚、切抜き44枚）、榊67本、仏花259本	販売合計 1,016,595円

③ リサイクル事業

元々、七尾市、中能登町より一般廃棄物収集運搬業の許可を受けて家庭ごみの収集運搬を業として行っていた。平成19年2月に起きた能登半島地震により、地震の後片付けや家財の整理として不用品処分（家庭ごみ）の依頼が増え、大量の不用品が集まることとなり、まだ使えるものはもったいないので、リサイクル品としての販売を行うようになった。

※市民等から無料で引き取った物品のため、古物商の許可はいらない。

- ・事業拡大していくための、国の補助金・旧企画提案事業補助金を活用して、当初はエコ推進事業として展開。（※現在は自立して補助金なし。）
- ・市内空き店舗を活用してリサイクルショップを開店することで商店街の活性化

< 店舗の機能 >

- 会員手作り農産物、手作り品（委託販売）、中島菜・味噌（独自事業）の製造販売
- 高齢者サロン（休憩場所として市民に開放）、サークル活動
- ・市環境課と連携し、ごみの減量などの講習（ダンボールコンポスト）
- ・定期にイベント、ふれあい市（毎月第2日曜日）開催（リサイクル品等販売）
- ・地産地消 ・中島菜の漬物（特産品の中島菜使用）
- ・こだわり味噌（七尾・能登産の大豆・水・塩・麴にこだわり）

< リサイクルショップ > 6店舗（H30.4.1）

- (1)「ゆずりあい」本館 平成19年11月1日オープン（常設展示）
平成20年度より 毎月第二日曜日「ゆずりあい市」開催
- (2)「看板婆：かんぱんむすめ」平成28年7月23日 松本店より移転オープン
（アンテナショップ松本店）平成21年4月29日松本町にオープン
- (3)「アンテナショップリボン店」平成23年7月16日オープン
軽食・喫茶コーナー設置 平成27年7月
（毎週月～土曜日オープン）
- (4)「リサイクルショップ鹿北店」平成25年4月1日いきいき交流館より移転オープン
- (5)「ショップお宝」平成29年4月1日オープン
（毎週月～土曜日オープン）
- (6)「再生市場」平成29年4月1日オープン（普段は施設、必要に応じて随時オープン）
平成30年11月で閉館し、旧御祓中学体育館で整理・展示予定。

平成29年度 リサイクル・委託販売・喫茶等 販売実績表

家具類	1,546,005 円
家庭用品	2,810,906 円
衣類	1,969,565 円
電化製品	179,950 円
委託販売	7,488,120 円
中島菜・こだわり味噌	248,015 円
軽食・喫茶	2,013,535 円
合 計	16,256,096 円

1 3）あすなろ会（互助会）

- 慶 弔 卒寿・米寿・喜寿祝（総会事に記念品）
負傷・疾病に見舞金、死亡に香典・弔電
- 助 成 春の旅行（日帰り）・夏の旅行（日帰り）・秋の旅行（日帰り）、
忘年会（一泊）、グラウンドゴルフ大会、ボーリング大会
サークル活動助成（習字、カラオケ、大正琴、リフォーム、オカリナ）

1 4）シルバー便り（毎月発行）

昭和56年発足当初より、全会員に地区班長を通して「シルバー便り」を配布している。
各種行事、案内等を掲載している。

< 全国で見る七尾市シルバー人材センターの事業成績 >

平成27年度 全国番付表

※月刊誌シルバーより

- (1)粗入会率 **全国第5位**
会員数1,000名以上 粗入会率 4.48%
- (2)女性会員比率 **全国第1位**
会員数1,000名以上 女性比率 51.5%
- (3)独自事業売上高 **全国21位**
1,883万円

七尾市シルバー人材センターの運営について

1. 現状について

- ・就業率は 70.3%と低調だが、サークル活動（習字、カラオケ、大正琴、リフォーム、オカリナ）、あすなろ会（旅行3回・忘年会・GG大会・ボウリング大会・ふれあいの集い年2回）の参加など生きがいの充実を求めて入会する会員増えてきております。
- ・リサイクル事業はアンテナショップを通じて売上実績が堅調に伸びてきております。また不用品処分の依頼がリサイクルと相まって年々増加しております。
（不用品処分作業の受注契約額 H29 641 万円、H30 10 月 500 万円）

2. 会員拡大・就業開拓・その他について

- ① 就業紹介制度 会員が就業紹介1件ごとに謝金200円（謝金として振込）
紹介による謝金支払実績：H29 137名
- ② 会員紹介制度 会員が会員紹介1人につき謝金500円（謝金として振込）
紹介による会員入会実績：H29 34名
H30.10より、10月以降入会者は会費半額（12月20名入会）
- ④ 独自事業・リサイクル事業により女性会員確保
 - ・不用品処分依頼の受注により、使える不用品をリサイクル品として回収し、運搬、洗浄、展示、販売（ナンテナ等）などの就業機会が生まれ女性の働く場が拡大。また不用品回収と同時に、一般家庭内の清掃作業も増加している。
 - ・リサイクルショップの運営（現在5店舗）。
 - ・店舗の運営は女性会員が中心となって運営している。
 - ・リサイクル品の販売、委託販売（手作り品、農産物など：販売の1割手数料）で農家の方や女性の入会が増加。
 - ・サークル活動の場としても利用することで女性会員増。
 - ・通常総会時、会場前に臨時出店（リサイクル品、野菜販売など）。他市SCのイベントにも臨時出店
- ④受注の確保として往復はがきによる年間の注文取り。過去3年間の利用者（剪定・草刈・草むしり）へ注文依頼の往復はがきを送付している。（2月頃）
仕事の注文案内のほか、その他の仕事案内やお客様アンケート（仕事の評価）の記入欄を設けて、発注者との信頼関係を保ち、リピーターの確保につなげている。
届いた返信ハガキは群班長に渡している。
往復はがきの数は（本年） 2,500件送付 H31 3500件
- ⑤ 蜂の巣とりの受注。
近年、ハチの巣の除去の依頼が増えてきており、防護服完備し実施している。（市民の要請に応える）：外から見える場所で高さ一階部分に限る。5,000円～10,000円
- ⑥ 広報利用等…七尾市有料広報枠及び民間の広告利用
 - ・七尾市有料広告枠利用（毎月2枠分） 112mm×55mm 年間利用料 205,200円
技能講習、ふれあい市（毎月第2日曜）、蜂の巣取、草刈除草、剪定など案内掲載
家庭用ごみ収集カレンダー 1枠 40mm×77mm 利用料 100,000円
 - ・民間のチラシ利用・・・こみみ情報局 年3回分 利用料 200,000円
新聞折込みで他の広告と共同で掲載するため相乗効果有り。
- ⑦「シルバー便り」は毎月地区班長を通じて会員に配布し事業内容を周知している。
- ⑧ 独自事業の門松制作販売で撤去後の竹は竹垣に利用、冬場の作業とする。
（剪定班が年間通して注文先確保）
- ⑨ シルバーカレンダーの配布（大型カレンダー 75×51cm）430部を企業、家庭等に配布。（大きくて見やすいため、欲しがる人、多数。仕事の受注につながっている。）